

令和2年大船渡市教育委員会第9回定例会会議録

1. 日 時

令和2年9月25日（金） 午後1時30分から午後3時5分まで

2. 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3. 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理人	柏 崎 正 明
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀

4. 説明等のため出席した職員

教育次長兼教育総務課長	遠 藤 和 枝
学 校 教 育 課 長	佐 藤 真

5. 議 事

議案第1号 教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて

6. 報告事項

(教育長)

- ① 大船渡市教育委員会教育長及び教育委員の任命について

(教育次長)

- ① 令和2年大船渡市議会第3回定例会について
- ② 学校統合推進協議会の進捗状況について

(教育総務課)

- ① 大船渡市教育振興基本計画の策定方針について

(学校教育課)

- ① 気仙地区中学校新人大会の開催結果について

7. 会議の概要

(教育長)

- ・ 令和2年大船渡市教育委員会第9回定例会の開会を宣言する。
- ・ 令和2年第8回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。
- ・ 諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育長)

- ・口頭により報告する。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・追加報告を求める。
- ・追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理人)

- ・8月31日付岩手日報に、学校のトイレにある手洗い場の水栓について、校舎の新築や改修を予定している自治体の74%がハンドルを手でひねるなどしなくてもいい非接触型の自動水栓を導入したいと考えていると掲載されていた。第一中学校校舎の水栓は、どのように考えているか。

(教育次長)

- ・具体的な設計は、これからとなる。貴重な意見として担当者に伝えたい。

(教育委員)

- ・緊急スクールサポートスタッフは、消毒作業以外にも給食の配膳など様々な形で補助に入り、学校において大変重宝されている。

(学校教育課長)

- ・多くの学校から助かっているという声をいただいている。来年のスクールサポートスタッフ配置を県に要望していきたい。

(教育委員)

- ・大船渡中学校と末崎中学校の統合について、捉え方によっては漫然としているように感じる。令和4年4月の統合を目指し、方針について期限を設けるなど方向づけることはできないのか。

(教育次長)

- ・去年の経緯に配慮した会長の言葉である。会議に参加していない方からすると、もどかしいと感じるところはあるだろう。この方法でまとまることが出来れば、話し合いが一気に進むのではないかと期待している。今は、具体的に話をできる状況になりにくい。

(教育長職務代理人)

- ・末崎地区から提案された「大船渡翔洋中学校」「大和中学校」の案は、保護者や児童生徒の声が、どの程度反映されているのか。

(学校教育課長)

- ・統合推進協議会委員であるPTA役員の意見が入っている。

(教育長職務代理人)

- ・前回の校名案は、かなり時間をかけ、地区、PTA部会や児童生徒も含めて十分に議論されていた。今回は、短い間に協議会メンバーの話し合いで決まったように感じられる。保護者や地域の方々がどの程度理解しているのか心配だ。

(教育次長)

- ・末崎地区は新設統合なので、新しい校名にしたいというところが大きい。前回、校名案として出た「大船渡南中学校」には拘らず、委員の方だけで決めたとみられる。

(教育委員)

- ・協議会に教育委員も同席できないか。
- ・保護者の意向がどのくらい反映されているのか。地区の方の話ばかりで保護者がどのように考えているのか掴みにくい。

(教育次長)

- ・オブザーバーとして、地元議員や学校の先生も参加している。
- ・PTAの方も色々案は出しているが、地域の方の話が主となっている。

(教育委員)

- ・保護者で自分の思いが文書や報道に載っていないと感じている方もいるかもしれない。

(教育次長)

- ・地域でまとめて案を出すため、個人の意見は言いにくいのではないか。

(教育長職務代理者)

- ・オブザーバーからも発言はあるのか。

(教育次長)

- ・学校関係者からは現場の声を、議員からは会議の進行の仕方についての意見はあるが、内容についての意見は無い。

(教育長職務代理者)

- ・校名の決め方は、次回の話合いで出てくるのか。

(教育長)

- ・そうである。

(教育長職務代理者)

- ・今年度は、両校の交流行事等は行われていないのか。

(学校教育課長)

- ・新型コロナウイルスの影響で交流会はない。部活動では、野球は合同部活動が行われている。

(教育長職務代理者)

- ・新人戦は、上位をほぼ第一中学校が占めている。統合の影響によるものか。

(学校教育課長)

- ・物理的に、第一中学校の生徒数が多いということ、陸前高田市と住田町の学校数も2校ずつに減ってきていることが考えられる。

(教育長職務代理者)

- ・学校施設の避難対策について、大船渡小学校の法面に木製の階段が設置され、市道との境のフェンスの一部を緊急用のゲートに交換したことにより、円滑に大船渡中学校に避難できるようになった。大船渡小学校と大船渡中学校の合同避難訓練の様子を見に行った際、子ども達は整然とその階段を昇り、緊急用のゲートから出入りしていて、すごく良かった。
- ・震災の前年には、市道とフェンスとの境の側溝に蓋が無く、勢いよく水が流れていたため、フェンスを乗り越えて避難できる状況ではなかった。そこに蓋を設置していた

ことが震災時の避難に大きく繋がった。正に、これが避難の取組みだと思った。

(教育長)

- ・当時、柏崎委員は大船渡小学校にいらしたのでお聞きするが、一旦、校庭に避難したのか。

(教育長職務代理人)

- ・校庭に避難したのは2時50分くらい。30分くらい校庭に避難していた。大船渡小学校は地域の避難場所だったため、地域住民も30人程度、体育館に避難してきていた。校庭にいれば安全だと思っていたが、津波が迫ってくる様子が見えたため、フェンスを乗り越えさせて逃げた。フェンスから逃げるのが出来なかったらと思うと、ゾッとする。
- ・大船渡中学校の高台から津波が迫っていると叫んでいたそうだが、聞こえなかった。その後、緊急時に連絡をとるため、大船渡小学校と大船渡中学校が繋がる無線を用意し、合同避難訓練を行っている。

(教育長)

- ・点呼が終わって、中学校に避難するまでの時間は15分くらいか。

(教育長職務代理人)

- ・点呼まで3分、中学校到達まで15分なので、大体20分弱で避難できるだろう。
- ・この間、合同避難訓練を見学したが、児童全員揃ってから避難するのではなく、揃った学年から次々と避難させていた。避難時間が短縮される良い方法だと思った。

(教育委員)

- ・1年生から順番に逃げると途中で列が詰まり、避難が遅くなってしまう。

(教育長職務代理人)

- ・当時も5、6年生はフェンスを飛び越えて、1、2年生は周りの人に手伝ってもらいながら越えた。最後の子どもがフェンスを乗り越えた時、津波が校庭に入ってくるという状況だった。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。
- ・日程第2、議案第1号について、説明を求める。

(学校教育課長)

- ・日程第2、議案第1号 教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第1号について、質問、意見を求める。

(教育長職務代理人)

- ・新しい道路ができたことにより、市役所入口のT字路付近は混雑しないのか。

(教育次長)

- ・T字路付近の拡張も検討されていたが、このままの幅となった。

- ・盛小学校に行く道路が狭いため、緊急時に大きい道路が通れるようにというのがこの道路の主旨である。

(教育長)

- ・質問、意見がないことを確認後、議案第1号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第1号を原案どおり可決する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見、追加議案がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和2年大船渡市教育委員会第9回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委員

委員